

## 平成 28 年度広島県連合小学校長会研究主題

【研究主題】「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く

日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

【副 主 題】 ～夢や志をもってともに未来を切り拓く人間力の基礎を育む学校経営～

【趣 旨】

全国連合小学校長会は、これまでの研究と実践の成果を踏まえながら、激しい変化の予想されるこれからの時代の要請に応える小学校教育の推進のため、平成 25 年度より大会主題を改め、その実現を目指し取り組んでいる。

近年、グローバル化、知識基盤社会化、少子高齢化等が一層進み、先を見通すことが極めて困難な時代を迎えている。こうした中であって、学校教育の責務として、地域社会と一体となり、新たな時代を主体的・積極的に切り拓いていく日本人を育てることが求められている。

これからの小学校教育では、変化の激しく課題解決の困難な社会を生き抜いていくため、絶えず知の更新を図り、様々な変化にも対応できる柔軟な思考や知恵と、課題解決に向けた新たな知を生み出す資質や能力を養う必要がある。また、多様な価値観や個性と出会う中で、それらを互いに尊重し、つながりや絆を深めるとともに、伝統や文化に立脚し、他者と協働しながらよりよい社会を築こうとする豊かな夢や高い志をもった子供を育成しなければならない。

我々校長は、こうした時代と社会の要請に鑑みて、これからの教育の在り方について先進的な知見を自ら求めるとともに、強力なリーダーシップを発揮する必要がある。以て、子供たちに夢や志をもち、これらを具現化・具体化する力を育むことのできる教員を育成する一方で、「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の 3 つの調和のとれた成長を実現する教育課程を編成・実施・評価・改善しなければならない。また、保護者や地域社会等との連携を通して、子供たちの健全育成や安全・安心な教育環境づくりを推進し、学校の枠を超えた教育活動にも積極的に取り組むことが求められている。

そのため、具体的には、次の視点を掲げた。

(1) 「知・徳・体」のバランスの取れた基礎・基本の確実な定着を図る。

- ・ 基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決することができる「確かな学力」を育成する。
- ・ 自らを律し、他人を思いやり、自然を愛し、伝統文化や社会規範を尊重し、郷土や国を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与しようとする「豊かな心」を育成する。
- ・ 健康、安全への自己管理能力を高め、主体的に自らの健康や体力の増進を図ろうとする実践的態度を通して「健やかな体」を育成する。

(2) 学校・教職員への信頼の確立を図る。

- ・ 教育に携わる者としての確かな力量と総合的な人間力を高めるための研修の充実を図る。
- ・ 積極的に情報発信をしながら、地域と一体となって子供を守り、育てる環境をつくる。

以上のことを踏まえ、子供たちが夢や志をもって、未来を積極的に切り拓き、自立した人間として力強く生きていくための人間力の基礎を育む教育の在り方と、特色ある教育活動を展開する校長の役割を究明しようとするものである。